

ABL-128のデバイスドライバの インストールのしかた

1. Windows 7 へのインストール
2. Windows Vista へのインストール
3. Windows XP へのインストール
4. Windows 2000 へのインストール
5. 実行プログラム対応表

重要なお知らせ

- 1: ABL-128本体をUSBポートに接続する前に、必ずデバイスドライバーをインストールしてください。
- 2: コンピュータによっては、インストールの一部段階が省略されることや、本説明書にない表示が出る場合があります。本説明書中の、使用するWindowsのバージョンについての説明をあらかじめよく読んだ上で、インストール作業を進めてください。
- 3: Program Loaderの実行ファイルには、32ビット版のものと64ビット版のものがあります。本説明書最後の「実行プログラム対応表」をご覧ください。適合した実行ファイルを使用してください。
- 4: Program Loaderの実行ファイルは必ずハードディスク上の専用フォルダにコピーしたものを使用し、デスクトップへのショートカットを作成してください(実行ファイル本体をデスクトップ上に置くのは避けてください)。

注意) 製品を御使用になる前に必ずお読みください

(免責事項)

1. 最初に

このマニュアルは、本製品の使用許諾契約書も兼ねています。以下の内容は、本製品を御利用される全ての方に適用されるものとします。お客様が本製品を使用した段階で、本製品の使用許諾契約書の内容に同意されたものとみなします。

2. 禁止事項

本製品のリバースエンジニアリング、ドライバ・ユーティリティなどのソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、本マニュアルの補修、翻訳、することを禁止します。また、本製品及び付属品、関連する物や、それらの複製及び改変したものを販売する行為も禁止します。また、付属のソフトウェアを不特定多数のアクセスが可能なウェブサイトや掲示板などにアップロードや掲載することも禁止します。

3. 本製品に対する権利

付属のマニュアル類やプログラムの所有権及び知的財産権は、全て共立電子産業株式会社に帰属します。今後とも放棄することは、一切ありません。

4. 損害に関する免責事項

お客様の自己責任においてご使用されるものとし、直接的又は間接的に発生する全ての損害(本製品及び、他のハードウェア・ソフトウェアの破損、それによって第三者からなされる請求)については一切の責任を負担しません。全て、お客様の自己責任の範囲での御使用をお願いします。

5. チュートリアルでのサンプルプログラムに関する免責事項

チュートリアルでのサンプルプログラムの動作に関して、説明の為に付けた簡易プログラムのため、他の環境での検証等は、していません。その為、付属のドライバやユーティリティに比べると、非常に完成度が低いです。サンプルプログラムについては、全くの保証なしに、現状のままで公開します。本ソフトウェアの動作に関し、当社は責任を負うものではありません。従って、サンプルプログラムに関する質問は、お答えする保証はありません。

6. 製品の仕様変更に関する免責事項

今後、製品の仕様やデザインは、予告無く変更されることがありますのでご了承ください。

お客様には、以上のことをご了承頂くものと致します。

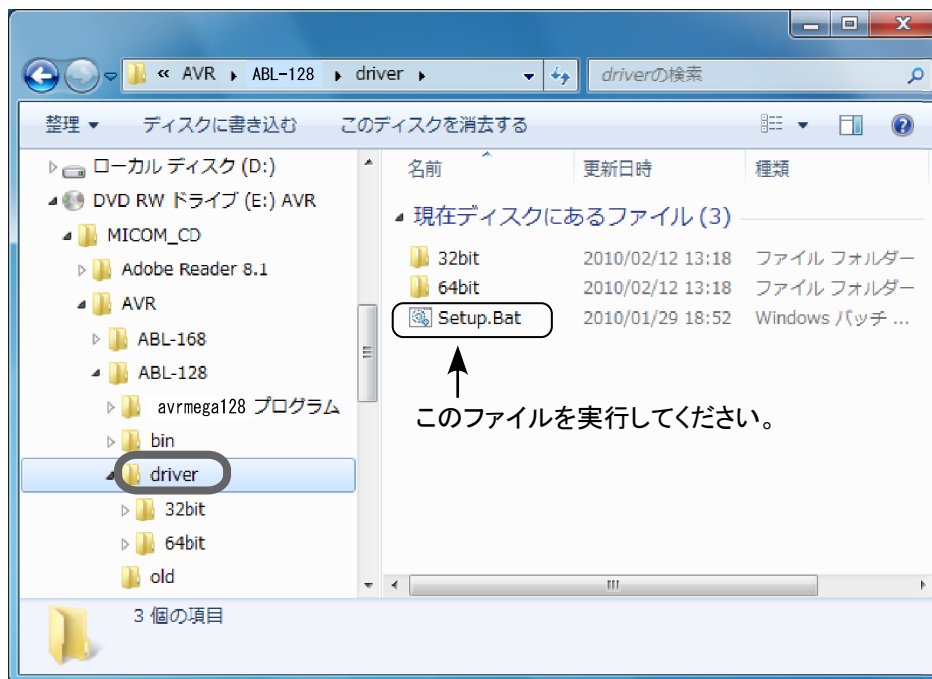
Windows7では、USBドライバーのインストール方法が変わりました。それに
伴い、全面的にインストール方法を変更しました。

なお、Vista、XP、Win2kでは従来とおりの方法でも可能です。
本説明書では、一貫性を持たせるためプリインストール(Windows 7では必須)
方法を採用しました。

USBポートにABL-128を接続する前にドライバーのインストールを行ってくだ
さい。

1. Windows 7 へのインストール

- (1) 製品に付属の CD の driver フォルダにある Setup を実行します。
 この作業により、
 デバイスドライバソフトウェアをコンピュータにプリインストールします。
 (注) 右クリックメニューの「管理者として実行(A)...」による実行はしないでください。

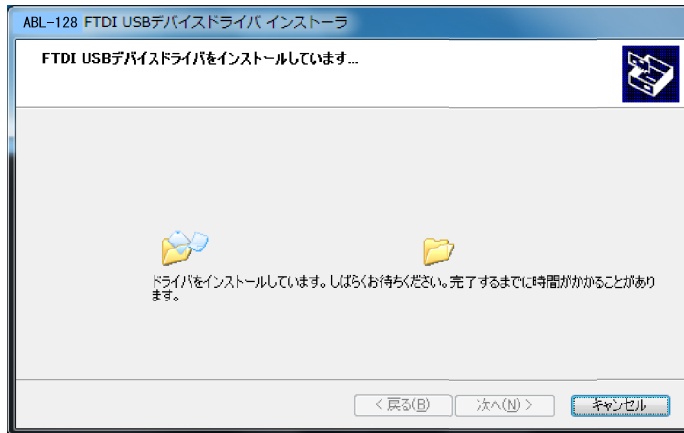


- (2) 「ユーザー アカウント制御」の問い合わせが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

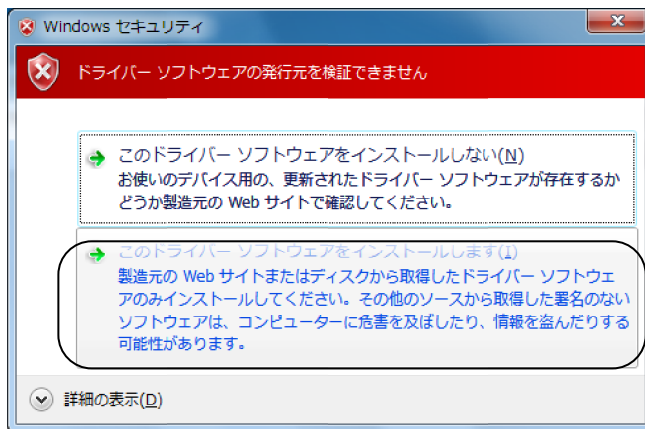
- (3) 「FTDI USBデバイスドライバ インストーラへようこそ！」の画面では[次へ] ボタンをクリックして、プリインストールを開始してください。



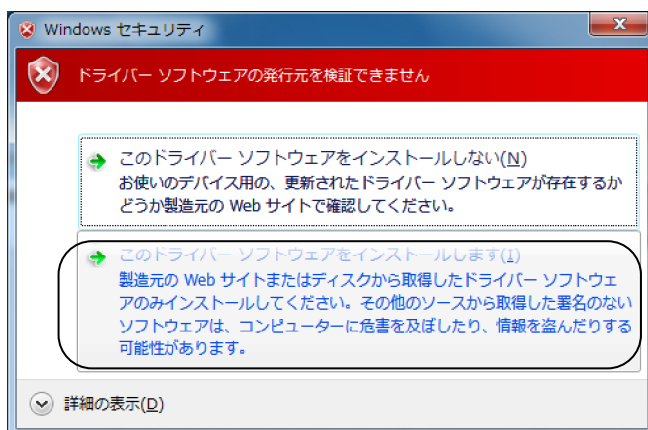
(4) ファイルのコピーが始まります。



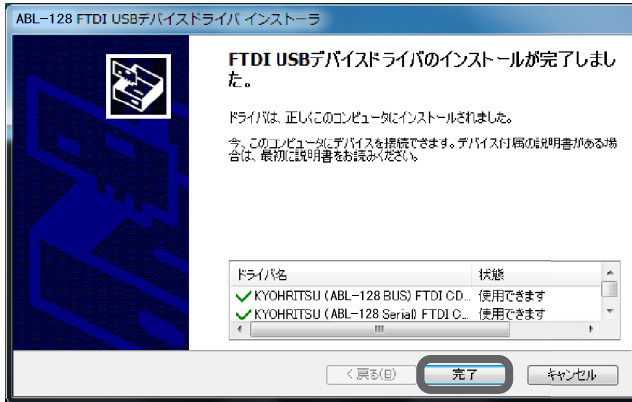
(5) 「ドライバー ソフトウェアの発行元を検証できません」という問い合わせに対して、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」を選択してください。



(6) もう一度 (5) と同様の問い合わせが表示されるので、同じように「このドライバー ソフトウェアをインストールします」を選択してください。

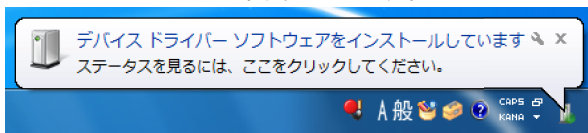


(7) 以下のメッセージが表示されれば、デバイスドライバのプリインストールは終了です。

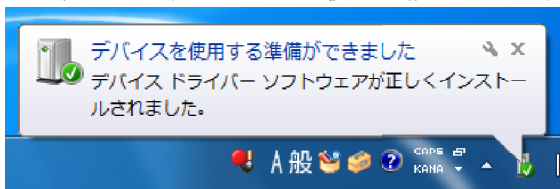


(8) CD-ROMドライブからCDを取り出し、ABL-128基板をコンピュータに接続します。

Windowsデスクトップ右下に次のようなメッセージが表示され、実際のデバイスドライバのインストールが開始されます。



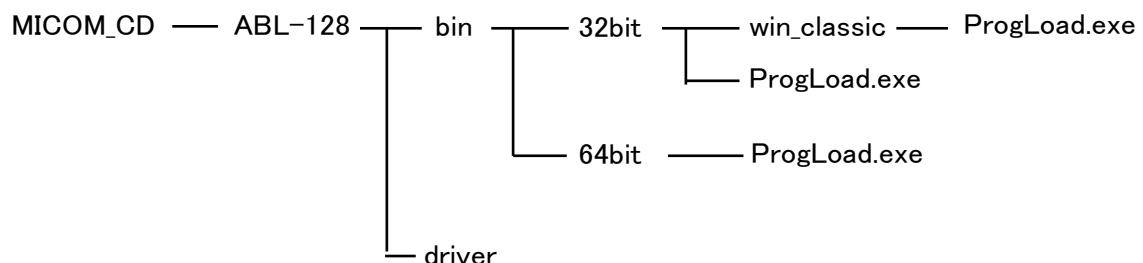
(9) インストールが成功すると、Windowsデスクトップ右下に次のようなメッセージが表示され、ABL-128 が使用可能になります。



(10) 製品に付属の CD の「ABL-128\bin」フォルダに ABL-128 の実行プログラムが格納されています。実行プログラムは、64bit Windows用と、32bit Windows用があるので、Windows環境に合わせて使用してください。(最後の「実行プログラム対応表」を参照してください) なお、この実行プログラムは、自動的に環境設定ファイルを作成するため、必ずハードディスクにコピーして、ハードディスクから実行してください。

ABL-128実行ファイルの場所

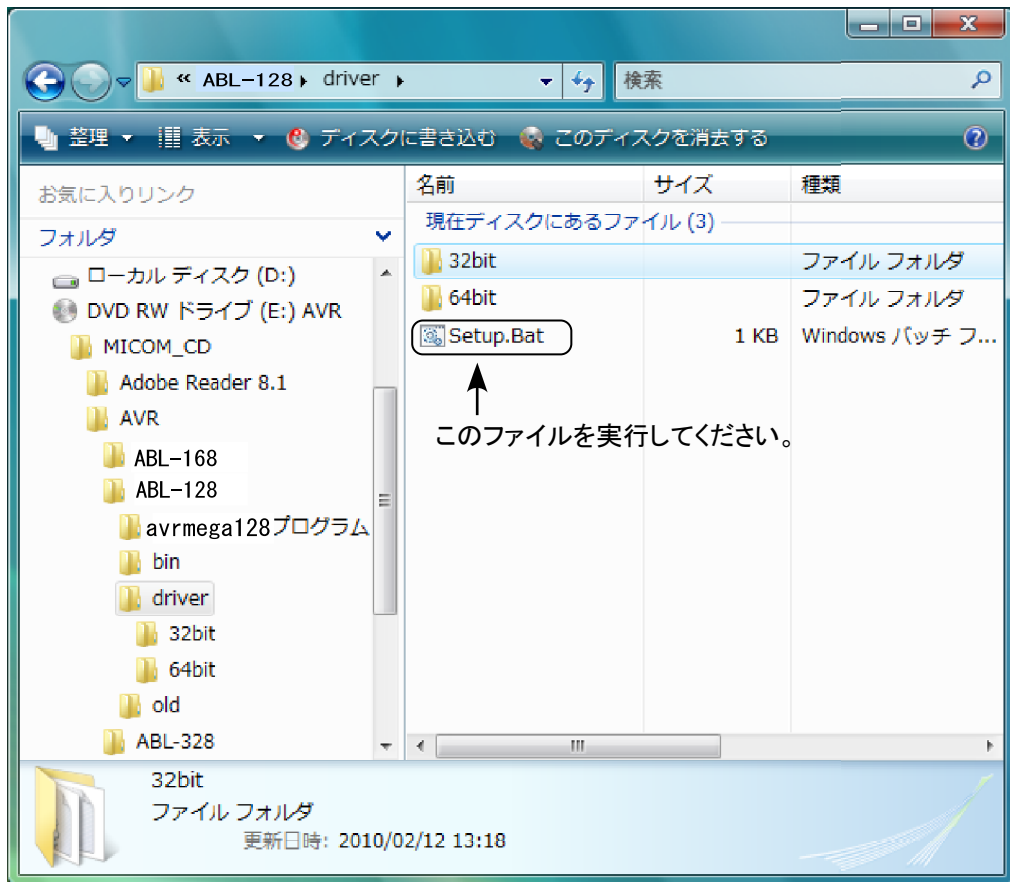
(注意: 実行ファイルは必ずハードディスク上の専用フォルダにコピーし、デスクトップへのショートカットを作成してお使いください)



2. Windows Vista へのインストール

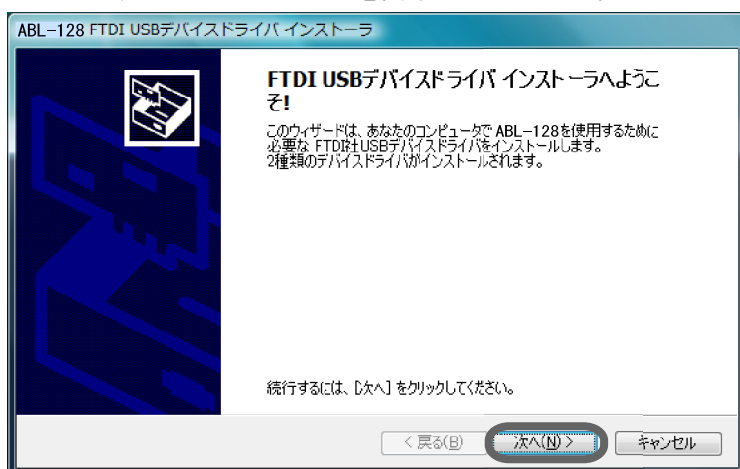
- (1) 製品に付属の CD の driver フォルダにある Setup を実行します。この作業により、デバイスドライバソフトウェアをコンピュータにプリインストールします。

(注) 右クリックメニューの「管理者として実行(A)...」による実行はしないでください。

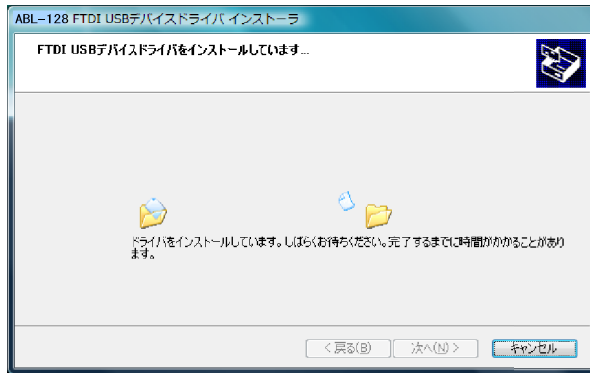


- (2) 「ユーザー アカウント制御」の問い合わせが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

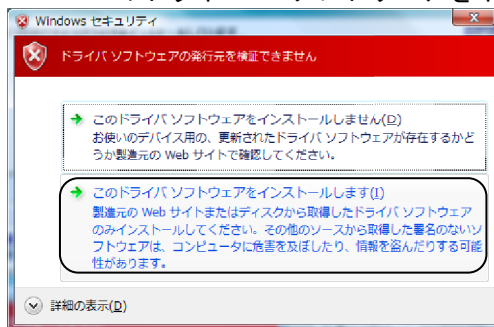
- (3) 「FTDI USBデバイスドライバ インストーラへようこそ！」の画面では[次へ]ボタンをクリックして、プリインストールを開始してください。



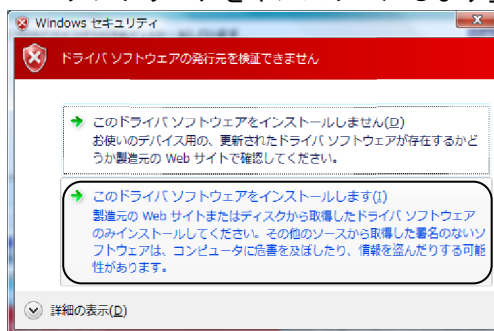
(4) ファイルのコピーが始まります。



(5) 「ドライバー ソフトウェアの発行元を検証できません」という問い合わせに対して、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」を選択してください。



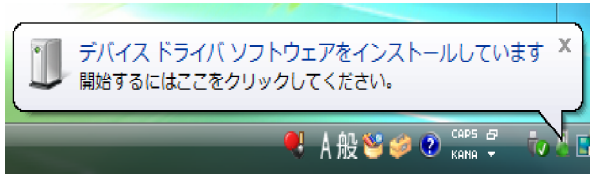
(6) もう一度上記5 と同様の問い合わせが表示されるので、同じように「このドライバー ソフトウェアをインストールします」を選択してください。



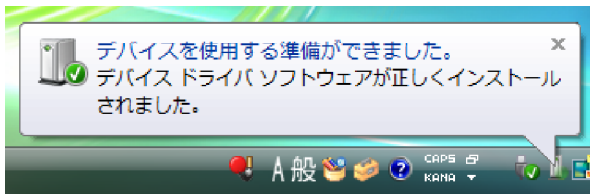
(7) 以下のメッセージが表示されれば、デバイスドライバーのプリインストールは終了です。



- (8) CD-ROMドライブからCDを取り出し、ABL-128基板をコンピュータに接続します。
Windowsデスクトップ右下に次のようなメッセージが表示され、実際のデバイスドライバのインストールが開始されます。



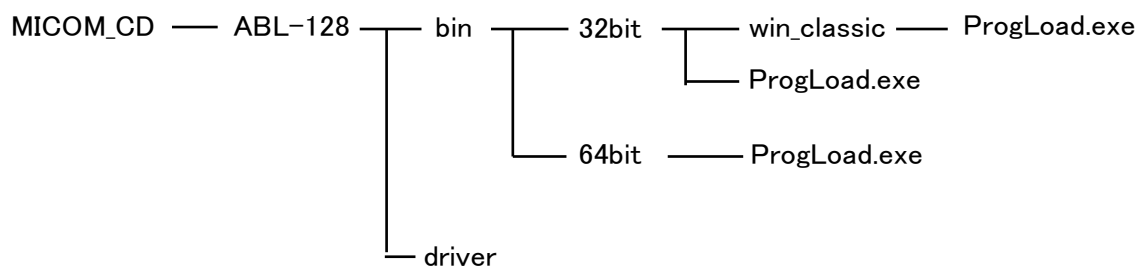
- (9) インストールが成功すると、Windowsデスクトップ右下に次のようなメッセージが表示され、ABL-128が使用可能になります。



- (10) 製品に付属の CD の「ABL-128¥bin」フォルダに ABL-128 の実行プログラムが格納されています。実行プログラムは、64bit Windows用と、32bit Windows用があるので、Windows環境に合わせて使用してください。(最後の「実行プログラム対応表」を参照してください)
なお、この実行プログラムは、自動的に環境設定ファイルを作成するため、必ずハードディスクにコピーして、ハードディスクから実行してください。

ABL-128実行ファイルの場所

(注意: 実行ファイルは必ずハードディスク上の専用フォルダにコピーし、デスクトップへのショートカットを作成してお使いください)

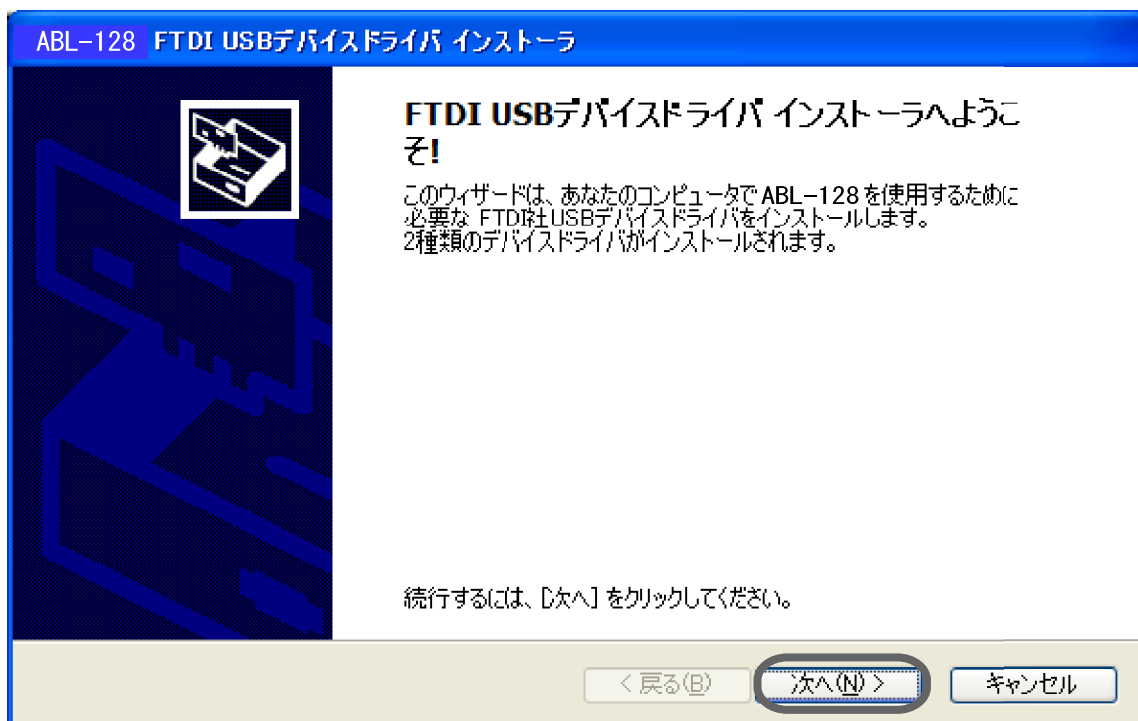


3. Windows XP へのインストール

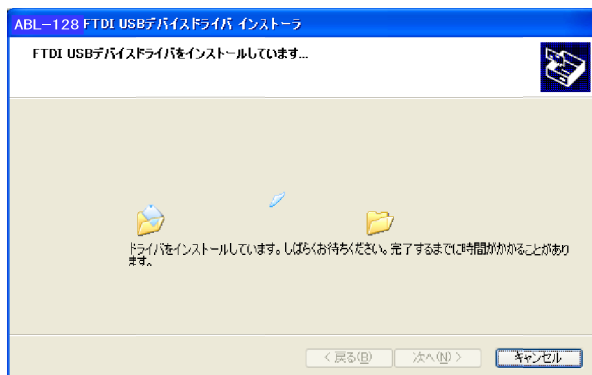
- (1) 製品に付属の CD の driver フォルダにある Setup を実行します。この作業により、デバイスドライバソフトウェアをコンピュータにプリインストールします。



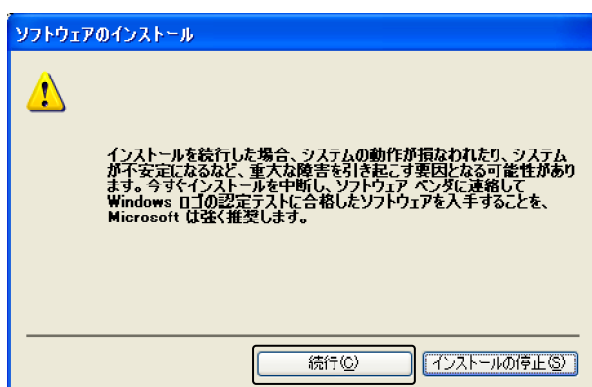
- (2) 「FTDI USBデバイスドライバ インストーラへようこそ！」の画面では[次へ]ボタンをクリックして、プリインストールを開始してください。



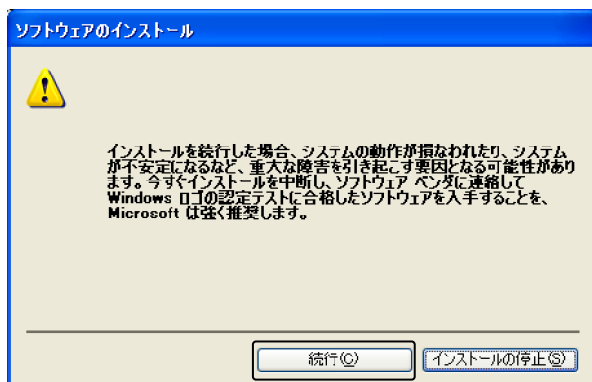
(3) ファイルのコピーが始まります。



(4) 次のような「ソフトウェアのインストール」の問い合わせが表示されますが、[続行]ボタンにより作業を続けてください。



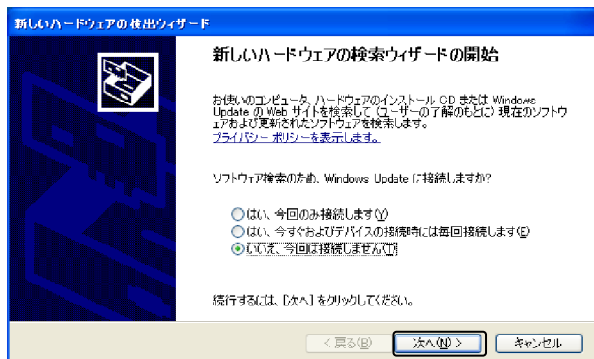
(5) もう一度上記5 と同様の問い合わせが表示されるので、同じように[続行]ボタンにより作業を続けてください。



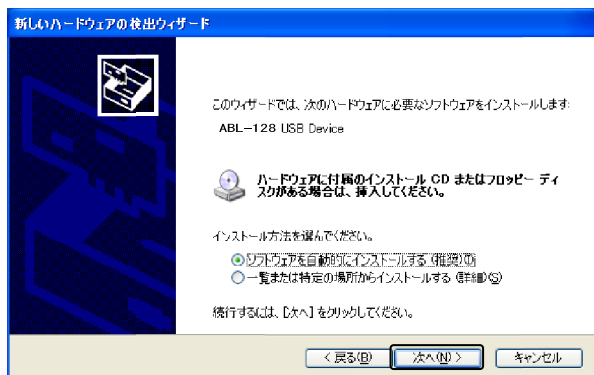
(6) 以下のメッセージが表示されれば、デバイスドライバのプリインストールは終了です。



- 7) CD-ROMドライブからCDを取り出し、ABL-128基板をコンピュータに接続します。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が実行されるので、「いいえ、今回は接続しません」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



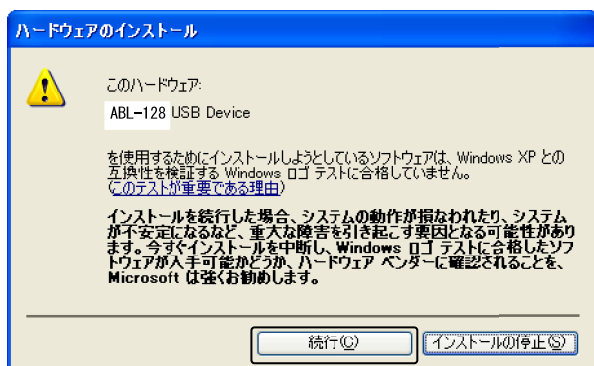
- (8) 続いてインストール方法の問い合わせが表示されるので、「ソフトウェアを自動的にインストール する」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



- (9) デバイスドライバーのインストールが開始されます。



- (10) 「ハードウェアのインストール」(ABL-128 USB Device) の問い合わせに対して、[続行]ボタンをクリックします。

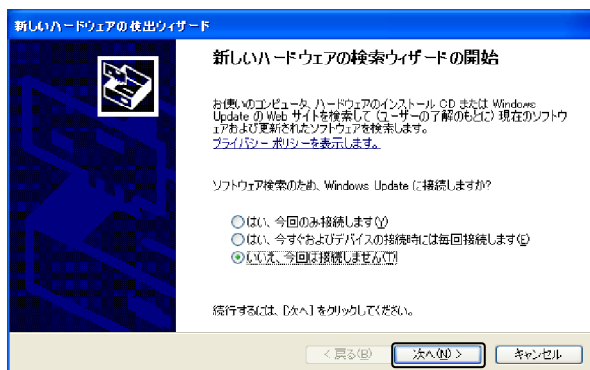


- (11) 「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」メッセージが表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。

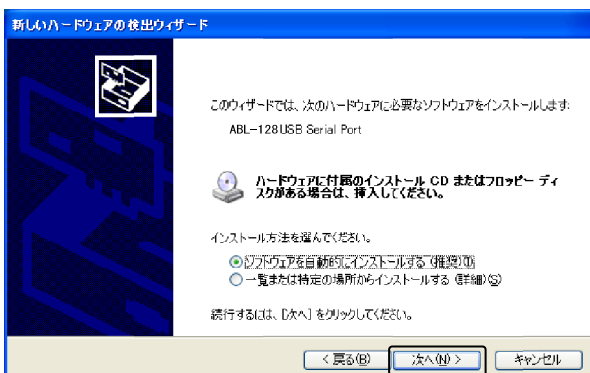
この後、再度「新しいハードウェアの検出ウィザード」が始まるので注意してください。



- (12) 2つ目の「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されるので、「いいえ、今回は接続しません」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



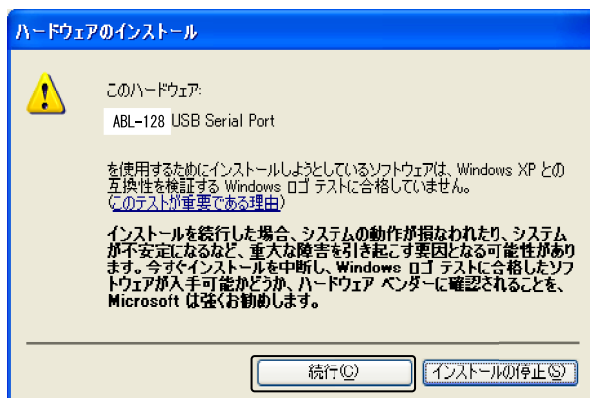
- (13) 続いてインストール方法の問い合わせが表示されるので、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



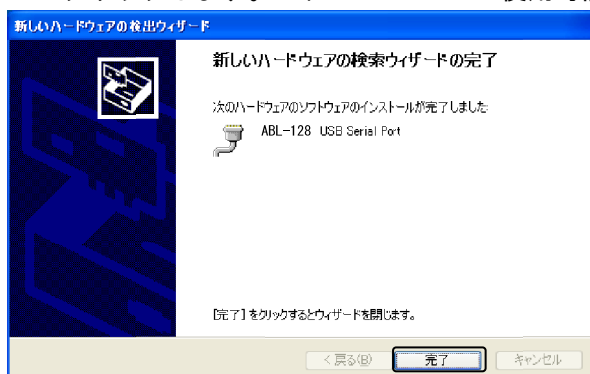
(14) デバイスドライバーのインストールが開始されます。



(15) 「ハードウェアのインストール」(ABL-128 USB Serial Port) の問い合わせに対して、[続行] ボタンをクリックします。



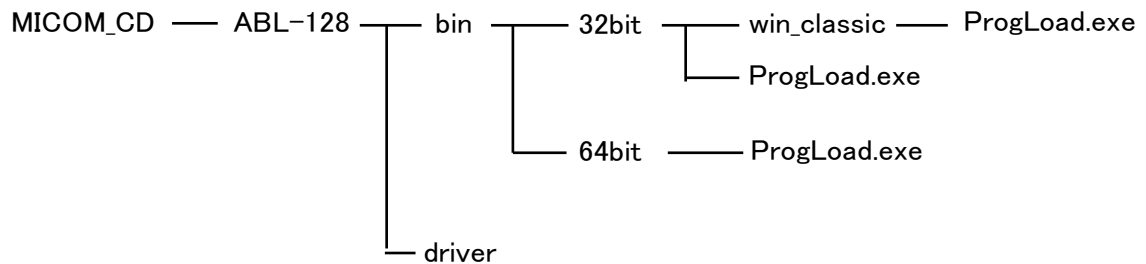
(16) 「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」メッセージが表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。これで ABL-128 が使用可能になります。



- (17) 製品に付属の CD の「ABL-128\bin」フォルダに ABL-128 の実行プログラムが格納されています。実行プログラムは、64bit Windows用と、32bit Windows用があるので、Windows環境に合わせて使用してください。(最後の「実行プログラム対応表」を参照してください)
なお、この実行プログラムは、自動的に環境設定ファイルを作成するため、必ずハードディスクにコピーして、ハードディスクから実行してください

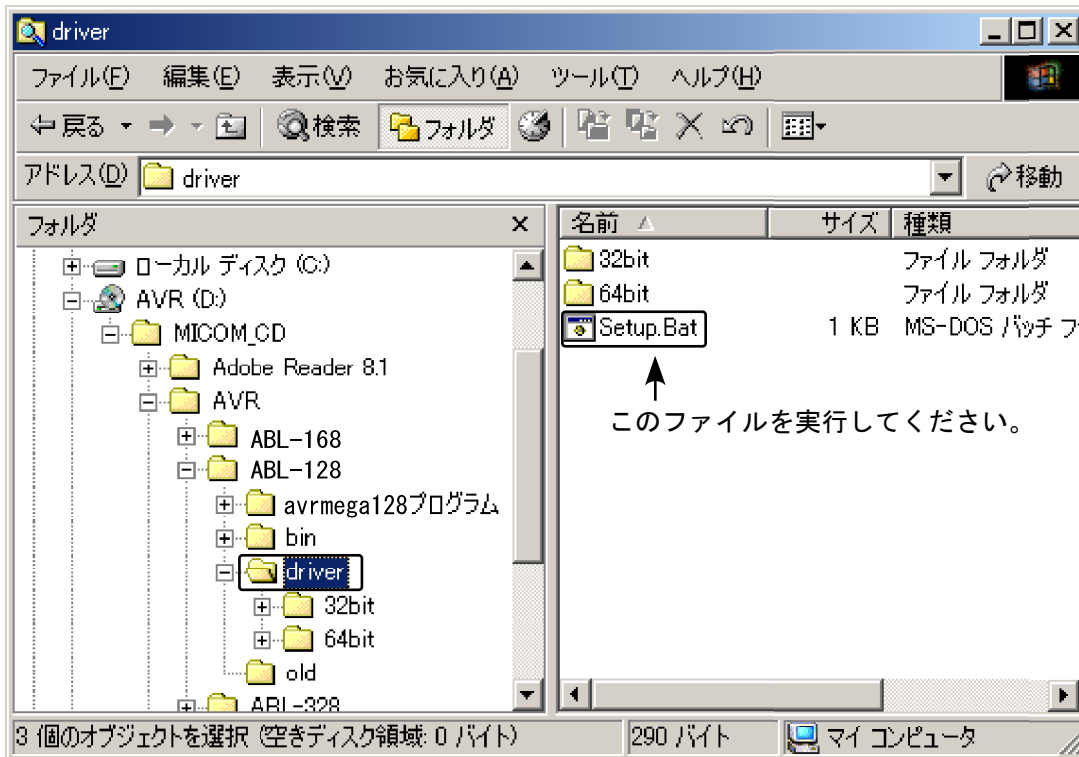
ABL-128実行ファイルの場所

(注意: 実行ファイルは必ずハードディスク上の専用フォルダにコピーし、デスクトップへのショートカットを作成してお使いください)



4. Windows 2000 へのインストール

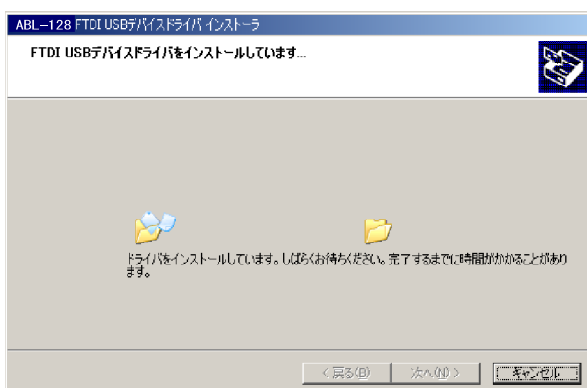
- (1) 製品に付属の CD の driver フォルダにある Setup を実行します。この作業により、デバイスドライバソフトウェアをコンピュータにプリインストールします。



- (2) 「FTDI USBデバイスドライバ インストーラへようこそ！」の画面では[次へ]ボタンをクリックして、プリインストールを開始してください。



- (3) ファイルのコピーが始まります。



(4) 以下のメッセージが表示されれば、デバイスドライバのプリインストールは終了です。



(5) CD-ROMドライブからCDを取り出し、ABL-128基板をコンピュータに接続すると、実際のデバイスドライバーのインストールが実行されます。

(6) 製品に付属の CD の「ABL-128¥bin」フォルダに ABL-128 の実行プログラムが格納されています。Windows 2000 では ABL-128¥bin¥win_classic¥ProgLoad.exe のみが実行可能です。
(最後の「実行プログラム対応表」を参照してください)

ABL-128実行ファイルの場所

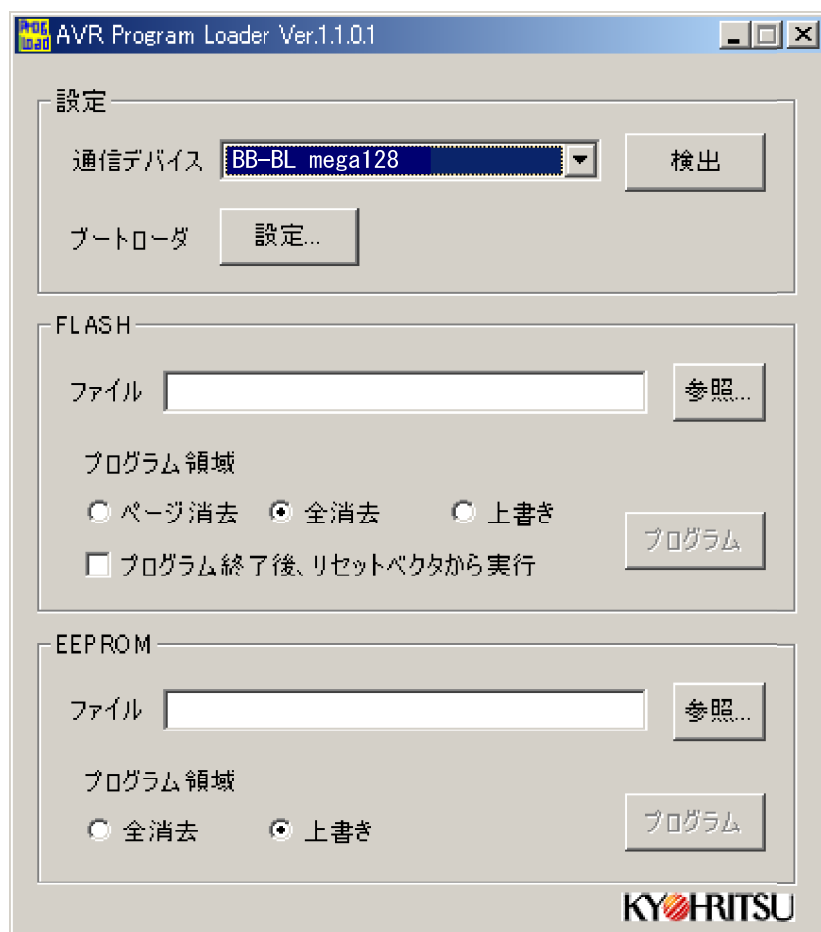
(注意: 実行ファイルは必ずハードディスク上の専用フォルダにコピーし、デスクトップへのショートカットを作成してお使いください)

```

graph LR
    MICOM_CD --- ABL-128
    ABL-128 --- bin
    bin --- 32bit
    bin --- driver
    32bit --- win_classic
    32bit --- ProgLoad_exe_32[ProgLoad.exe]
    win_classic --- ProgLoad_exe_32
    64bit --- ProgLoad_exe_64[ProgLoad.exe]

```

(7) ProgLoad.exe を実行すると、次のようなウィンドウが表示されます。



5. 実行プログラム対応表

○ 実行可 × 実行不可

実行プログラム		64bit	32bit	32bit classic
Windows 7	64bit	○	○	○
	32bit	×	○	○
Windows Vista	64bit	○	○	○
	32bit	×	○	○
Windows XP	64bit	○	○	○
	32bit	×	○	○
Windows 2000 32bit		×	×	○